

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成24年11月22日(2012.11.22)

【公開番号】特開2011-102721(P2011-102721A)

【公開日】平成23年5月26日(2011.5.26)

【年通号数】公開・登録公報2011-021

【出願番号】特願2009-256974(P2009-256974)

【国際特許分類】

G 01 N 27/447 (2006.01)

【F I】

G 01 N 27/26 3 1 5 J

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月5日(2012.10.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

分離媒体に緩衝液を介して電流を流すことによって、上記分離媒体中のサンプルを分離し、かつ、分離されたサンプルを上記分離媒体からサンプル吸着用部材へ吸着させるサンプル分離吸着器具であって、

第1電極が配置される第1緩衝液槽と、

第2電極が配置される第2緩衝液槽と、

上記第1緩衝液槽と上記第2緩衝液槽との間に配置される第3緩衝液槽と、

上記第1緩衝液槽内に開口する第1開口および上記第3緩衝液槽内に開口する第2開口を有し、かつ、上記分離媒体を格納するサンプル分離部とを備え、

上記第2緩衝液槽内と上記第3緩衝液槽内とを隔てる隔壁には、上記第2開口に対向する位置に、通電のための貫通孔を設け、

上記サンプル吸着用部材は、上記第3緩衝液槽内における上記第2開口と上記貫通孔との間に配置されることを特徴とするサンプル分離吸着器具。

【請求項2】

上記サンプル吸着用部材を上記第2開口側に押し当てる押当部を備え、

上記押当部は、上記貫通孔と上記サンプル分離部との間に設けられていることを特徴とする請求項1に記載のサンプル吸着器具。

【請求項3】

上記押当部は、貫通孔を有する弾力性素材、または、吸水時に膨張する素材から形成されることを特徴とする請求項2に記載のサンプル分離吸着器具。

【請求項4】

上記第2緩衝液槽は、脱着可能な槽として構成されており、

上記貫通孔は、上記第2緩衝液槽の側部に設けられていることを特徴とする請求項1から3のいずれか1項に記載のサンプル分離吸着器具。

【請求項5】

上記貫通孔は、導電媒体が充填されていることを特徴とする請求項1から4のいずれか1項に記載のサンプル分離吸着器具。

【請求項6】

上記サンプル吸着用部材をサンプルの分離方向に垂直な方向に移動させる移動手段を備

えることを特徴とする請求項 1 から請求項 5 のいずれか 1 項に記載のサンプル分離吸着器具。